

2 避難経路の確保

方法(例)	管理組合の備え	各家庭の備え
マンション内の避難経路を確認する	■	■
避難経路に避難の障害となるものを置かない	■	■
避難時に使う物を枕元に用意する	—	■

(1) マンション内の避難経路を確認する

○安全に避難できるように複数の避難経路を確保しましょう。

- ・玄関からのルート、バルコニーから仕切り板や避難ハッチを通るルート、浸水被害を想定した上階へのルート等を確保する。
- ・避難時にエレベーターを使用しない。
- ・避難経路上の階段の位置を確認する。

○いざという時あわてないために、日頃から避難経路を確認し、居住者に知らせておきましょう。

- ・避難経路図を作成し、配布する。

(2) 避難経路に避難の障害となるものを置かない

○階段や廊下、エントランスホール等の共用部、各戸のバルコニーに避難の障害となるものを置かないようにしましょう。

- ・避難ハッチの上に植木鉢等を置かないようにする。
- ・仕切り板の横に物置等を置かないようにする。
- ・共用廊下等に自転車等を放置しないようにする。

(3) 避難時に使う物を枕元に用意する

○安全に避難でき、万が一の時には助けを呼べるような道具を枕元に用意しましょう。

- ・懐中電灯、底の厚い履物、メガネ
- ・マスク、着替え
- ・ホイッスル、防犯ブザー 等



参考

避難経路を確保する対震ドア、対震ドアガード

○対震ドアはドアとドア枠の間に隙間を設けており、万が一ドア枠が歪んでしまっても、扉の開閉が可能です。対震ドアガードは、ドア枠が変形しても開閉できるように形状が工夫されています。

○大阪市防災力強化マンション認定制度では、対震ドアや対震ドアガードを設置することが認定基準となっています。

3 エレベーターの閉じ込め対策

方法(例)	管理組合の備え	各家庭の備え
エレベーター内での地震発生時の対応を確認する	—	■
エレベーター閉じ込め対策キャビネットを設置する	■	—

(1) エレベーター内での地震発生時の対応を確認する

○揺れを感じたらすべての階の停止ボタンを押して、エレベーターが止まった階で降りましょう。もし、閉じ込められたら、中にある非常ベルや非常電話で外部と連絡し、落ち着いて救助を待ちましょう。

○地震後は安全が確認できるまで、エレベーターは絶対に使用しないようにします。高層階にお住まいの方も階段を使いましょう。

(2) エレベーター閉じ込め対策キャビネットを設置する

○長時間のエレベーター内閉じ込め対策として、救助されるまでの間、不安やパニックにならないよう、キャビネットを設置する方法があります。

○キャビネットには、救助されるまでの間必要となる飲料水や簡易トイレなどを備えておきましょう。



参考

地震時管制運転装置

地震時管制運転装置（P波感知型地震時管制運転装置）は、地震の初期微動（P波）を感知し、本震（S波）が到達する前にエレベーターを最寄り階に停止させ、ドアを開く装置です。比較的新しいマンションでは、地震時管制運転装置が設置されているものが多いようです。

地震時管制運転装置がついているエレベーターかどうか、管理会社に確認してみましょう。

4 安否の確認

方法(例)	管理組合の備え	各家庭の備え
居住者名簿の作成、更新を行う	■	—
身の安全を確保する	—	■
安否確認方法を定める	■	—

(1) 居住者名簿の作成、更新を行う

○居住者の安否確認のため、居住者名簿を作成しましょう。また、定期的に更新しておきましょう。

○名簿を作成するうえで、①名前、②年齢、③災害時要援護者の有無、④緊急連絡先等、必要最小限の情報を集めることも考えられます。

○居住者の同意が得られた場合は、あわせて勤務先や医師・看護師・技術者等、災害時に支援をもらえる方の情報を入手できるとなお良いでしょう。

○名簿の保管方法など、個人情報の取扱いのルールについても決めておきましょう。

(2) 身の安全を確保する

○まずは自分自身や家族の安全を確保してください。その上で、可能な範囲で各階やマンション全体の安否確認や救助活動に参加しましょう。

(3) 安否確認方法を定める

○管理組合が行う居住者の安否確認方法について決めておきましょう。

○一例として、管理組合から安否確認ステッカーを事前に配布しておきます。避難の際に、各自が安否確認ステッカーを玄関に貼ります。自主防災組織の各フロアの担当者は、玄関のステッカーによって被災状況を確認し、被災状況に応じて救助にあたります。さらに、マンションの避難場所において、最終的な安否確認を行います。

「安否確認ステッカーの例」

在宅者が無事な時は、このステッカーを玄関に表示してください。

在宅者無事です

在宅 名

確認時刻 時 分 確認者

助けが必要な時は、このステッカーを玄関に表示してください。

助けが必要です

在宅 名 負傷者 名

救助を完了した時は、救助しました を○で囲んで時刻を記入してください。

救助しました

救助時刻 時 分 救助者